

# Continuing Certification Requirements (CCR) Program Handbook

## 資格更新ハンドブック

注：資格更新ハンドブック2009年6月版を仮訳したものです。

## 目次

### トピック

資格更新プログラムについて	2
CCR フォルダーを維持すべき理由	2
オンラインでの作業	2
資格更新／CCR サイクルの決め方	2
認定ステータス	3
プロフェッショナル・デベロップメント・ユニット	6
PDU の計算方法	8
PDU 活動を報告する方法	9
申請、手数料及び監査プロセス	10
PMI 倫理・職務規定	29
PMI 認定申請／更新規約	34

## 資格更新プログラム（CCR）

資格更新プログラム（CCR）は、PGMP,PMP,PMI-SP 及び／または PMI-RMP 資格保有者の継続的な学習と専門能力開発を支援します。CCR の目的は、

- ・ 資格保有者の専門家としての能力開発を促進します
- ・ 自己研鑽を奨励します
- ・ 専門家としての能力開発活動を記録するための標準化された仕組みを提供します
- ・ PMI 認定資格のグローバルな価値とその認知度を維持します

CCR プログラムを満たし有効な資格更新状況を維持するためには、次の事項を実施しなければなりません。

- 1 3年間の認定／CCR サイクル中に専門家としての能力開発の単位（PDU）を獲得し報告する
- 2 資格更新申請を提出する。
- 3 PMI の倫理規定と行動指針、PMI 資格更新／更新申請に関する合意事項について遵守することを確約する。
- 4 更新料を支払う。

## CCR フォルダーを維持すべき理由

皆さんは個人の CCR フォルダーに報告した PDU 活動を証明する資料を保管しておく必要があります。申請毎に、申請内容の写しとそれを証明する資料を保管しなければなりません。（詳細は、PDU の節を参照してください）

**注意：** 何パーセントかの認定資格者が無作為に抽出され PMI の監査を受けます。監査の間、PDU を確認するために PDU 申請に対応した証明資料の提示を求められます。したがって、PDU 申請に関連する資料は CCR サイクル完了後、最短で 18 ヶ月は保管されていなければなりません。

## オンラインでの作業

オンライン認定システムにより次の事項を実施できます。

- ・ 認定登録簿の参照
- ・ 連絡先の変更
- ・ 認定記録上の認定／CCR サイクルの決定
- ・ 獲得した PDU 数の報告
- ・ 資格更新の申請及び手数料の支払い

## 資格更新／CCR サイクルの決め方

認定／CCR サイクルは試験に合格した日に始まり、丸 3 年後に終わります。

以下の表に、有効な資格更新／CCR サイクルの算出概要を記載しています。またこれらは、[www.PMI.org](http://www.PMI.org) あるいは皆さんの資格認定書で同様に確認できます。

	PMP、PMI-SP、PMI-RMP	PgMP
資格更新/CCR サイクルの開始	試験合格日	MRA の合格日
資格更新/CCR サイクルの終了	試験合格日から 3 年後の同一日	MRA 合格日から 3 年後の同一日
算出:		
試験／MRA 合格日が	2008 年 9 月 15 日	2008 年 9 月 15 日
資格更新/CCR サイクル開始は、	2008 年 9 月 15 日	2008 年 9 月 15 日
資格が切れるのは、	2011 年 9 月 15 日	2011 年 9 月 15 日
いつまでに資格を更新する必要があるのか	2011 年 9 月 14 日	2011 年 9 月 14 日
次の資格更新/CCR サイクル開始は、	2011 年 9 月 15 日	2011 年 9 月 15 日

## 認定(サーティフィケーション)ステータス

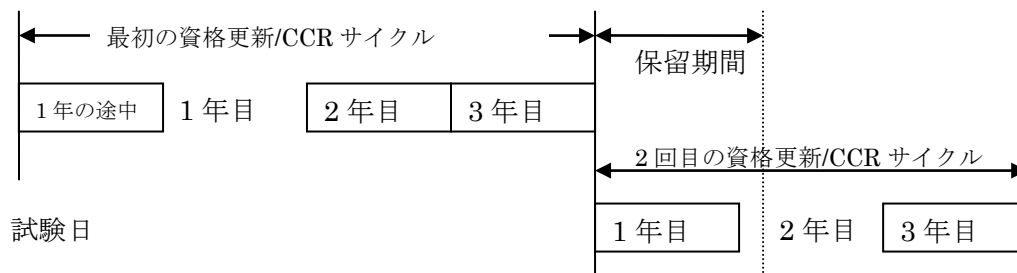
### 有効(アクティブ)ステータス

有効期限が切れる前に獲得した PDU を報告し認定資格を更新したら、正規の資格保有者となりステータスは有効になります。有効ステータスであれば、オンライン登録簿に記載され、自身の認定状況を確認することができます。

### 保留(サスペンディド)ステータス

有効期限内に CCR プログラムを満たせない場合、皆さんは保留ステータスになります。保留ステータスの場合、CCR 要件が満足できるまで、自身を資格保有者として扱ったり、資格認定者の称号を使用してはいけません。保留ステータスは、CCR 期限から 1 年以内です。

次回の CCR サイクルは、保留から有効ステータスに切り替わったとしても変更されません。(保留サイクルは次回の CCR サイクルと重複します。下図を参照してください)



### 引退（リタイアード）ステータス

正当な資格認定保有者ですが、引退のため自発的に有効ステータスを手放したいときには、引退ステータスとなることができます。引退ステータスとなると、プロジェクト及び／またはプログラムマネジメントの実務をする必要はありませんが、少なくとも 10 年間は正当な資格認定を保持している必要があります。

引退ステータスに興味がある場合、PMI グローバル・オペレーション・センターの資格認定部門宛に要求書面を郵送してください。

### プロフェッショナル・デベロップメント・ユニット（PDU）

PDU は認定された学習とプロフェッショナルとしての活動を定量的に測定するための単位です。通常、学習と実践に費やした 1 時間に 1PDU を付与します。

**注意：** 継続的研修単位(CEU)対象の研修コースに参加する場合、1CEU が 10PDU に換算されます。

資格毎に、3 年間の資格サイクルに獲得する必要がある PDU 数が定められています。

認定資格	3 年サイクルに必要な PDU 数
PMP	60
PgMP	60
PMI-SP	スケジューリングの分野に関する事項 30

PMI-RMP	リスク・マネジメントの分野に関する事項 30
CAPM	

資格更新請求プログラム(CCR)では5つのカテゴリーに分けられています。

### カテゴリー1: 正式な大学教育

PMI 資格取得後に大学の教育コースを受講し終了すると PDU を獲得できます。教育コースは学位授与向けのプロジェクトマネジメントあるいはプログラムマネジメントに関する学位取得の単位として認められているものでなければなりません。15 週間続く学期の学位対象教育 1 時間は 15PDU になります。10 週間からなる学期は 10PDU です。一部分がプロジェクト及び／またはプログラムマネジメントに関するコースの場合、コース全体に占めるプロジェクト及び／またはプログラムマネジメントの割合で PDU を計算します。コース毎に、別々の CCR 活動報告フォームで申請する必要があります。PMI としては学位授与プログラム全体での PDU 付与は行いません、個々の教育コースに対してのみ PDU を付与します。

**PMI 監査に必要な書類:** 合格を示す成績証明書または成績表

### カテゴリー2: 専門家活動と自学研鑽

特定の専門家活動に参加する場合、前もって決まっている PDU を獲得できます。このカテゴリーで獲得できる PDU 数は、カテゴリー2 の活動ガイドに記載しています。

**PMI 監査に必要な書類:** 出版物、教育資料のサンプルまたは教育コースのアジェンダの写し

カテゴリー2 の活動ガイド

カテゴリーコード	内容	獲得 PDU
2A	プロジェクト及び／またはプログラムマネジメントに関する学術雑誌(査読付き)への寄稿記事の著者または共著者(例:プロジェクトマネジメント・ジャーナル)	該当する資格認定ハンドブックの CCR の節を参照
2B	プロジェクト及び／またはプログラムマネジメントに関する雑誌(査読無し)への寄稿記事の著者または共著者(例:PM ネットワーク)	該当する資格認定ハンドブックの CCR の節を参照
2C	コンファレンス、シンポジウム、ワークショップあるいは正式なコースにおけるプロジェクト及び／またはプログラ	該当する資格認定ハンドブックの CCR の節を参照

	ムマネジメント・トピックの講演者／講師	
2D	PMIの部署(例:支部の会合)におけるプロジェクト及び／またはプログラムマネジメント・トピックの講演者／講師	該当する資格認定ハンドブックのCCRの節を参照
2E	プロジェクト及び／またはプログラムマネジメントに関するパネル・ディスカッションのメンバーかモデレータ	該当する資格認定ハンドブックのCCRの節を参照
2F	プロジェクト及び／またはプログラムマネジメントに関する教本の著者または共著者	該当する資格認定ハンドブックのCCRの節を参照
2G	プロジェクト及び／またはプログラムマネジメントの教育用コースウェアのコンテンツの開発者	該当する資格認定ハンドブックのCCRの節を参照
2H	プロジェクト及び／またはプログラムマネジメントに関するプロジェクト業務を1暦年当たり1,500時間以上行った者  例:1月から12月	該当する資格認定ハンドブックのCCRの節を参照

#### 自己研鑽活動の PDU

2-SDL	自己研鑽活動とは、個々の学習課題にあわせて自ら調査または研究することとします。自己研鑽に同僚、共同作業、顧客あるいはコンサルタントとの議論またはコーチング／メンタリングなどの非公式な活動、を含みます。記事、本、手順書、ビデオ、CD-ROM または他の資料*を使用し行います。	該当する資格認定ハンドブックのCCRの節を参照
* 自己学習活動は、プロジェクト及び／またはプログラムマネジメントまたは特定分野の目的に合致し、知識を使う適切なものでなければなりません。2-SDL カテゴリーの PDU を決める際は、自己研鑽用ワークシートを使用してください。		

**PMI 監査に必要な書類：** 討論や勉強の日程(開始から終了)及び記録を含む自己研鑽の証拠

#### カテゴリー3:PMI に登録済み教育機関／PMI の部署が提供するコース

PMIに登録済み教育機関(P.E.P.s)やPMI自身が提供する教育へ参加することによりPDUが獲得できます。これらの教育機関はPMIが要求する品質基準を遵守しているので、出席者にPDUの証明書を単独で発行する権限を有しています。それら教育機関はR.E.P.sの登録マークで識別できます。



例として、学校、コンサルタント、企業の研修部門、専門家の団体、政府機関、PMI 支部、SIG、大学などがあります。教育機関は、R.E.P.s のデータベース及び R.E.P.s の提供するオンライン・サービスで調べてください。

**PMI 監査に必要な書類：** 教育の登録書と修了認定書または参加証明書

#### カテゴリー4:その他の教育機関

PMI に未登録の教育機関により提供される教育コースへ参加した場合も、プロジェクト及び／またはプログラムマネジメント教育のコンタクト時間を獲得できます。PDU への換算は、プロジェクト及び／またはプログラムマネジメントに関することを学習した 1 コンタクト時間を 1PDU とします。

**PMI 監査に必要な書類：** 登録書、修了認定書または参加証明書、それらとブローシャまたはコースの内容を記した概要資料と講師の資格を記したもの

#### カテゴリー5:専門組織またはコミュニティ組織に対するボランティア活動

プロジェクトマネジメント組織に対する専門的サービスまたは雇用関係または顧客関係にないグループに対する無報酬のプロジェクト及び／またはプログラムマネジメント・サービスを提供することにより、1CCR サイクル当たり最高 10PDU を獲得できます。ボランティア・サービスは PMBOK®ガイド第 3 版に規程されているプロジェクトの定義に合致している必要があります。  
注 PMBOK ガイドではプロジェクトとは、独自のプロダクト、サービス、所産を創造するために実施される有期的な業務と定義しています。

下記に、認められている活動と付随する PDU 数の例を示します。

- プロジェクトマネジメント組織 (PMI の構成組織を含む) において選出された役員を務める

最短 3 ヶ月従事： (3 ヶ月未満の場合は、PDU 付与はありません)	1年につき 2PDU
最短 6 ヶ月従事	1年につき 5PDU
12 ヶ月従事	1年につき 5PDU

- プロジェクトマネジメント組織(PMIの構成組織を含め)でのボランティア/任命された委員会メンバーとして従事

最短3ヶ月従事: (3ヶ月未満の場合は、PDU付与はありません)	1年につき1PDU
最短6ヶ月従事	1年につき3PDU
12ヶ月従事	1年につき5PDU

- 地域、チャリティーまたは大学生グループに対するプロジェクト及び/またはプログラムマネジメントに関連した教育を目的としたサービスの提供(1年につき5PDU)
  - スポンサー組織は正式な非営利組織でなければなりません

この分野での PDU の付与については PMI ボランティア・オポチュニティ・オンラインを参照してください。

**PMI 監査に必要な書類:** プロジェクト・タスク・リーダーとして、またはプロジェクト・チーム・メンバーとして従事した組織からの書面あるいは認定書

## PDU の計算方法

各カテゴリで獲得した PDU 数に最小値の制限はありません。下表の制約内ならどのようなカテゴリの組み合わせでも PDU を獲得することができます。

カテゴリ	PgMP 及び PMP 資格の 3 年の CCR サイクルで獲得できる PDU 数の最大値	PMI-RMP 及び PMI-SP 資格の 3 年の CCR サイクルで獲得できる PDU 数の最大値
カテゴリ 2-SDL	15PDU	7.5PDU
カテゴリ 2H	15PDU	7.5PDU
カテゴリ 5	20PDU	10PDU

PMI 資格取得以前に終了した PDU 活動は、更新申請の PDU としては認められません。さらに、同一コースまたは活動への複数回の参加は 1 回しか PDU として申請できません。1 時間に引き続く、PDU の端数は、1/4PDU 単位で報告できます。ある活動で 1 時間を報告後、同一活動を継続することで 0.25PDU を追加報告できるということです。

### 次期 CCR サイクルへ PDU を繰り越す方法

CCR サイクルに必要な PDU を超えて PDU を獲得した場合、下表に示す PDU を次期 CCR サイクルに繰り越すことができます。

資格	次期 CCR へ繰り越せる PDU 数
PMI-RMP	10PDU
PMI-SP	10PDU
PgMP	20PDU
PMP	20PDU

3 年目に取得した PDU のみ繰り越すことができます。

## 複数の資格を維持する方法

既に保有している PMI の資格を他に転用することはできません。適格性を満足している場合、PMI の複数の資格または全てを取得することができます。ある資格を保有していて、他の資格を取得したい場合、複数の資格を同時に維持できる PDU の取得方法があります。

PMP 及び PgMP の認定／CCR サイクル

PMP 及び PgMP 資格の両方を維持するため、3 年間で 60PDU (120PDU ではありません。) を獲得する必要があります。認定サイクルの揃え方には 2 通りの方法があります。申請手続きをする際は、いずれかの方法を選択します。

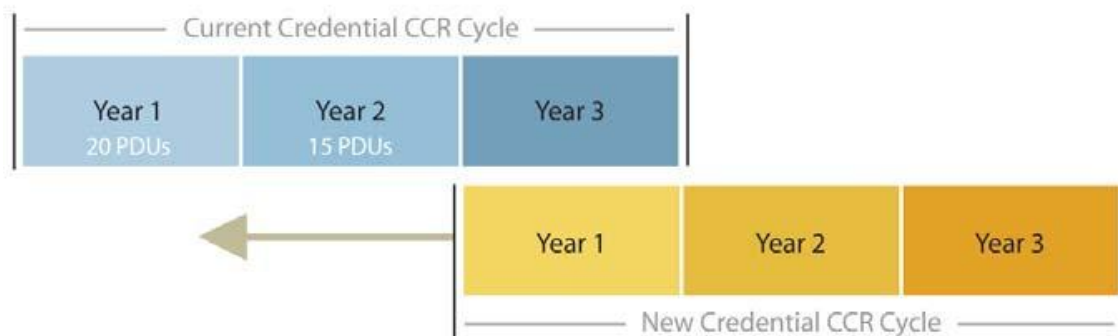
オプション A —すでに資格を保有している場合—“現”資格と—“新”資格で、今後獲得する PDU を共有する。新資格を取得する以前に現資格で獲得した PDU は没収されます。現資格の更新日を新たに取得した資格の更新日に合わせる。

**OPTION A:** Align both CCR cycles to the date of your new credential.



オプション B 現資格で獲得している PDU と獲得しつつある PDU を新資格で共有する。新資格の更新日を、現在保有している資格の更新日に合わせる。

**OPTION B:** Align both CCR cycles to the date of your current credential.



### **PMP または PgMP 資格用の PDU を専門資格用に申請する**

PMP または PgMP の資格を保有し、PMI-RMP を申請しようとする場合、PMI-RMP 資格用に取得した PDU を、PMP または PgMP の資格維持の PDU として申請することができます。

つまり、PMP と PMI-RMP の資格を維持するには、(90PDU ではなく)60PDU を取得して報告すれば良いのです。ここで注意しなければならないのは、PMI-RMP を維持するには、プロジェクト・リスクマネジメントの分野に特化した専門的活動を行わなければならないことです。ただし、PMI-RMP と PMI-SP 資格の間で、PDU を共有することはできません。

## PDU 活動を報告する方法

PDU 活動を行った時には、これを報告する責任があります。PDU の報告には、オンラインの PDU resources system を使用するのが最も効率的です。オンライン PDU リソース・システムは、トランスクリプト(写し)を見ることによって報告済みの PDU を確認することができます。PDU 申請してからオンライン・トランスクリプトに反映されるまでに 3 週間の猶予をいただきます。

**注意:** PMI-RMP と PMI-SP の保有者は、現在のところ、Activity Reporting Form を使用して PDU を追跡する必要があります。オンラインの PDU 追跡システムは更新作業中ですが、専門資格の PDU については、現在、使用することはできません。  
したがって、(省略)

PMI は皆さんがオンラインで PDU を申請することを推奨していますが、オンライン上で入手した資格更新 Activity Reporting Form に必要事項を記載し、写しを PMI に郵送することもできます。この場合は各活動を完結させておく必要があります。あとは、Activity Reporting Form を送るだけです。この時点で、活動の補足資料を送る必要はありませんが監査対応のためにその資料は保管しておくべきです。

活動	リソース
記入済み Activity Reporting Form を右記宛先へ郵送する	PMI/CCR Records Office College of Continuing Education 1700 Asp Avenue Norman, Oklahoma 73072-6400 USA
Activity Reporting Form を PMI/CCR レコード・オフィスに FAX する	+1 405 325 6925

### PDU 報告期限

認定資格を保留状態としないように、CCR サイクル終了前までに PDU 数を報告して更新処理を済ませる必要があります。(詳しくは、保留状態の章を参照してください)

CCR サイクル内に必要な PDU 数を獲得できず報告できない場合、認定資格は保留状態になります。

加えて、CCR 期限切れ後 12 ヶ月以内に完了した PDU 活動を報告することができます。

## 申請、手数料及び監査プロセス

### 資格更新申請書と更新料

CCR 記録オフィスが、皆さんの報告が PDU 要件に合致していることを確認後に、PMI の資格更新部門が皆さんに資格更新をするよう e メールで通知します。この通知を受け取ってから、皆さんは認定資格の更新申請を完成させ、オンライン認定システムを使って更新料の支払いを済ませてください。

更新料は PMI 会員なら 60US ドル、非会員は 150US ドルです。

認定資格期限後 90 日以内に、資格更新と更新料の支払いを済ませる必要があります。

あるいは、郵便でグローバル・オペレーション・センター宛に更新申請書と更新料を送ることができます。

**注意:** PMI からの e-メールによる連絡は、不意に何らかのスパム・フィルターによってブロックされたり転送されたりします。[customercare@pmi.org](mailto:customercare@pmi.org) を皆さんの e-メールのアドレス帳に追加して、PMI からの CCR 更新に関する重要なお知らせの受け取りミスをなくすようにしてください。

更新が支払いも含め完了後、PMI から新しい認定資格とその CCR サイクルを皆さんにお送りします。認定の郵送物が皆さんに届くまで 6 から 8 週間の猶予をください。

皆さんは認定資格をいつでもキャンセルできます。そうするためには、書面で PMI 資格更新部門にコンタクトしてください。書面のキャンセル要求に従い、未使用の更新済み認定資格 / CCR サイクル各々に対し通年分の更新料の 1/3 を返金します。

### PMI 監査プロセス

PMI 認定資格の受領者として、監査プロセスに付随した条項を含め監査条項について従わなければなりません。監査プロセスの条項では、すべての認定資格保有者が監査に従うことになっています。監査対象となった場合、監査が無事終了しかつ監査条項に合致した後でなければ更新することが許されていません。

## PMI倫理・職務規定

### 第1章 ビジョンと適用

#### 1.1 ビジョンと目的

私たちは、プロジェクトマネジメント(以下PMと略記)の実践者として、正義と名誉を重んじる行動をとることを約束します。私たちは高い基準を設定し、職場でも、家庭でも、専門職ボランティア活動においても、人生のあらゆる場面でこれらの基準を遵守することを目指します。

このPMI倫理・職務規定は、グローバルなPMコミュニティにおいて、PM実践者である自身と仲間への期待事項を述べます。専門職、またはボランティアの役割として必須の行動はもとより、目指すべき理想を明確に述べるものです。

この規定の目的は、PM専門職に自信を植え付け、個人個人がよりすぐれた実践者になるための力になることです。それは専門職全体にわたって適切な行動についての広い理解を確立することで実現します。PM専門職の信頼と名声は、個人の行動の積み重ねによって築かれます。

私たちは個人としても集団としても、この規定を受け入れることによって、私たちの専門職業を発展させられると信じます。また、特に自分の品位や価値観について妥協を求められるような苦境に直面した場合に、この規定が賢明な判断をする手助けとなると信じます。

このPMI倫理・職務規定が倫理と価値観に関する学習、論議、執筆のきっかけとして機能することを願っています。さらに、この規定が最終的に私たちの専門職業を確立させ発展させるために使用されることを望みます。

#### 1.2 この規定の対象者

PMI倫理・職務規定は、次に示す人々に適用されます。

##### 1.2.1 すべてのPMI会員

##### 1.2.2 PMI非会員で次の基準の1つ以上に合致する人:

- .1 PMI認定資格保有者
- .2 PMI認定資格への出願者
- .3 ボランティアとしてPMIの活動の参加者

注釈:会員、非会員に関わらずPMI認定資格保有者は、これまでPMP職務規定あるいはCAPM行為規定に対して責任を負っていましたが、これからはPMI倫理・職務規定に対して責任を負うこととなります。過去においては、PMIは会員向けと資格認定者向けに別々の倫理規定を制定していました。しかし、この規定の策定に携わった関係者は、複数の規定をもつのは望ましくなく一つの高度の基準に誰もが従うべきだ、という結論に達しました。したがって、この規定はPMI会員にも、PMI会員資格にかかわらずPMI認定資格保有者や認定出願者にも共に適用されます。

#### 1.3 この規定の構成

PMI倫理・職務規定は、PMコミュニティにおいて最重要であると識別された4つの価値観に合わせた行為の基準を、章節として区分しています。注釈を含む節もいくつかあります。注釈

はこの規定に必須のものではありませんが、参考例や解説を提供します。最後に、基準の末尾に用語集を付けています。用語集は、この規定で用いられる語句を定義します。便宜上、用語集に定義している用語には、規定の中で下線を引いています。

#### 1.4 この規定を支える価値観

グローバルなPMコミュニティの実践者は、意思決定の基準を形成し行動の指針となる価値観を識別するよう求められました。グローバルなPMコミュニティが最重要と定義した価値観は、責任、尊敬、公正、誠実です。この規定はこれら4つの価値観を基盤におくことにします。

#### 1.5 希求行為と必須行為

この倫理・職務規定には章ごとに希求基準と必須基準の両方があります。希求基準は、実践者として努力して維持する行為を記述したものです。この希求基準の遵守状況の測定は容易ではありませんが、これに従った振舞いこそ専門職として私たち自身に期待されているものなのです。これには選択の余地はありません。

必須基準は、厳守すべき必要条件を定めており、いくつかのケースで、実践者の行動を規制したり禁止したりするものです。これらの基準に従って振舞わない実践者は、PMI倫理レビュー委員会の下で懲戒手続きに従うことになります。

**注釈：**希求基準と必須基準に示す行為は排他的なものではありません。すなわち、ある特定の行動または怠慢が、両方の基準に違反することもあります。

## 第2章 責任

### 2.1 責任とは

責任とは、私たちの義務として、行うべき決定、とるべき行動、それに伴う結果などを自分のものとして考えることです。

### 2.2 責任:希求基準

グローバルなPMコミュニティにおける実践者として、

2.2.1 社会、公共の安全性、環境などにとっての最善策を基準として意思決定し、行動します。

2.2.2 自身の経歴、経験、スキル、資格、などに相応の職務のみを受け入れます。

**注釈：**実力不相応な職務または背伸びした職務が考えられているとき、特定の職務への適応性を詳細な情報に基づいてステークホルダーに判断してもらえるように、自身の適格性のギャップについてタイムリーで完全な情報を確実に渡すようにします。

契約に臨む場合には、自分たちの組織の担当能力がある仕事だけに応札し、仕事を遂行できる資格、能力のある要員だけを当てます。

2.2.3 引き受けた約束は守ります。すなわち、実施すると言ったことは遂行します。

2.2.4 自分たちが誤りや怠慢を起こしたときには、迅速に責任をもって修正します。他

人の誤りや怠慢を発見した場合は、それを見つけ次第、適切な組織にそのことを連絡します。自分たちが起こした誤りや怠慢による問題と結果について責任を負います。

2.2.5 委託された知的所有権や機密情報を守ります。

2.2.6 この規定を支持し、相互に責任を負います。

## 2.3 責任: 必須基準

グローバルなPMコミュニティにおける実践者として、自身および仲間の実践者に次のことを要求します。

### 規制と法的要求事項

2.3.1 自己の仕事、専門職活動、及びボランティア活動に適用される方針、規則、規制、法律に関する知識を持ち、それらを守ります。

2.3.2 非倫理的または違法な行為を適切な管理者に報告し、必要であれば、その行為によって影響を受ける人々にも報告します。

**注釈：**これらの条項にはいくつかの意味合いがあります。具体的には、窃盗、詐欺、汚職、横領、贈賄その他のいかなる不法な行動にも組みしないということです。さらに、知的財産を含む他人の財産を取り上げたり、権利侵害したりせず、他人の誹謗中傷や名誉毀損も行いません。世界中の実践者による調査グループは、この種の不法な行動が問題をはらんでいると述べています。

私たち専門職業の実践者および代表者として、不法な行動をしている他人を見逃したり支援したりはしません。いかなる不法行為も非倫理的行為も報告します。報告することは簡単でなく、それが否定的な結果をもたらすかもしれません。最近の企業スキャンダル以来、多くの組織が、不法行動や非倫理的行動について真実を明らかにする従業員を保護する方針を採用してきました。真実を進んで明らかにする従業員を保護するための法律を制定した政府もあります。

### 倫理の告訴

2.3.3 この規定の違反は、解決のために適切な組織に通報します。

2.3.4 事実によって実証される倫理の告訴だけを提起します。

**注釈：**これらの条項にはいくつかの意味合いがあります。告訴人か被告かを問わず、倫理違反の事実と関連情報の収集についてPMIに協力します。すべての事実を把握しているのでなければ、他人の倫理上の不正行為を告発することは控えます。さらに、他人に対して承知の上で虚偽の申立てをする個人には、懲戒処分を進めます。

2.3.5 倫理上の懸念を提起している人に対して報復する者には、懲戒処分を進めません。

## 第3章 尊敬

### 3.1 尊敬とは

尊敬とは、私たちの義務として、自分自身、他人、そして私たちに託された資源に対し高い敬意を示すことです。託された資源としては、人、金、名声、他人の安全、自然や環境資源などがあります。

尊敬の環境は、相互協力の促進によって、信頼、信用、および業績の卓越性を生みだします。それは、多様な考え方や見方が奨励され尊重される環境なのです。

### 3.2 尊敬: 希求基準

グローバルなPMコミュニティにおける実践者として、

3.2.1 他人の規範と慣習についての知識を持ち、彼らが失礼と感じるような振舞いに関与するのを避けます。

3.2.2 他人の考え方に耳を傾け、理解するよう努めます。

3.2.3 対立したり、意見が相違したりする人々に直接接触します。

3.2.4 報われない場合ですら、専門職としての態度で振舞います。

注釈: これらの条項の意味合いは、ゴシップに巻き込まれることを避け、他人の名声を傷つけるような否定的な意見を述べるのを避けるということです。この種の振舞いに関与する人に立ち向かうことも、この規定の下での義務です。

### 3.3 尊敬: 必須基準

グローバルなPMコミュニティにおける実践者として、自身および仲間の実践者に次のことを要求します。

3.3.1 交渉は誠意を持って行います。

3.3.2 他人の決定や活動に影響を及ぼして彼らの負担で個人的に利益を得るために、専門知識の力や地位の力を行使しません。

3.3.3 他人に対してののしりの態度で行動しません。

3.3.4 他人の所有権を尊重します。

## 第4章 公正

### 4.1 公正とは

公正とは、私たちの義務として、公平かつ客観的に意思決定し行動することです。私たちの行為は、私利私欲、偏見、情実を競い合うことのないものである必要があります。

### 4.2 公正: 希求基準

グローバルなPMコミュニティにおける実践者として、

4.2.1 意思決定過程の透明性を実証します。

4.2.2 必要に応じて是正措置を取りながら、公平性と客観性を絶えず見直します。

注釈: 実践者に関する研究によれば、利害衝突というテーマは私たちの専門職業が直面する、最も手腕が問われる課題のひとつでした。実践者が報告した最大の問題のひとつは、忠誠心の衝突があってもその認識はなく、自分自身または他人が何かの事情で利害衝突という状況にさらされてしまった時に認識が生

じるといことです。私たちは実践者として、起こりうる対立を積極的に探し、起こりうる相互の利害衝突を浮き彫りにしてその解決を主張することで互いに助け合わなければなりません。

4.2.3 情報入手の権限を持つ人々に、平等にその情報へのアクセス手段を提供します。

4.2.4 資格ある候補者が平等に利用できるような機会を提供します。

注釈：これらの条項の意味合いは、契約に臨む場合に、入札手続期間中の平等な情報アクセス手段を提供するということです。

### 4.3 公正:必須基準

グローバルなPMコミュニティにおける実践者として、自身および仲間の実践者に次のことを要求します。

#### 利害衝突の状況

4.3.1 現実的または潜在的ないかなる利害衝突も、適切なステークホルダーに、積極的かつ完全に開示します。

4.3.2 現実的または潜在的な利害衝突の存在が判明した場合には、影響を受けるステークホルダーに全てを開示し、同意された軽減計画を用意し、ステークホルダーから継続の合意を得る、という段階にいたるまで、意思決定プロセスなどに関与して結果に影響を及ぼそうと試みることを控えます。

注釈：ある団体の代表として意思決定や他の結果に影響を及ぼす立場にある時に、利害衝突が起こります。それは、そのような意思決定や結果が、私たちが忠誠心を競っている一つ以上の団体に影響を与えるかもしれない場合です。例えば、従業員という立場では、雇用主に忠誠義務を負います。PMIボランティアという立場では、PMIに忠誠義務を負います。こうした異なる利害を認識し、利害衝突がある時には、意思決定に影響を及ぼすことを控えなくてははいけません。さらに、分割された忠誠心を脇において公平な意思決定ができるということを信じるとしても、私たちは、利害衝突が発生すれば利害衝突として取り扱い、規定に記述された条項に従います。

#### 情実と差別

4.3.3 個人としての情実に基づいて、雇用や解雇、報奨や処罰、契約の締結や拒絶をしません。情実としては、えこひいき、縁故、贈収賄、などがあり、それだけに限りません。

4.3.4 性別、人種、年齢、宗教、障害、国籍、性的指向などの一切の事項に基づく他人との差別を行いません。

4.3.5 情実や偏見なく、組織(雇用主、PMIあるいは他のグループ)の規則を適用します。

## 第5章 誠実

### 5.1 誠実とは

誠実とは、私たちの義務として、コミュニケーションにおいても振舞いにおいても、真実を理解し、正直な態度で行動することです。

### 5.2 誠実:希求基準

グローバルなPMコミュニティにおける実践者として、

5.2.1 真実の理解を真剣に追及します。

5.2.2 コミュニケーションにおいても振舞いにおいても、正直にします。

5.2.3 タイムリーに正確な情報を提供します。

**注釈:** これらの条項の意味合いは、意思決定の基になる情報、あるいは他人に提供する情報が、正確で、信頼でき、タイムリーなものであることを保証するために適切なステップを踏むということです。

これには、不正確な情報かもしれない場合でさえ、悪いニュースの情報を共有する勇気を持つことが含まれます。また、結果が思わしくない場合に、情報を隠蔽したり他人に責任転嫁したりするのを避けます。結果が素晴らしいときには、他人の業績を自分の手柄にするのを避けます。これらの条項が、誠実と責任の両方に対する私たちの公約を強固にするのです。

5.2.4 暗示的であろうと明示的であろうと、誠意をもって表明し約束します。

5.2.5 人が安心して真実を述べることのできる環境作りに努力します。

### 5.3 誠実:必須基準

グローバルなPMコミュニティにおける実践者として、自身および仲間の実践者に次のことを要求します。

5.3.1 他人を騙すことを意図した振舞いに関与したり、それを容認したりすることはしません。この振舞いには、誤解させるようなまたは虚偽の記述、一部だけしか本当でない陳述、文脈から外した情報提供、それが知られると人を欺くまたは不十分な陳述だということがばれてしまうような情報の保留、などがあり、それだけに限りません。

5.3.2 個人的利益獲得をはかったり他人の費用に依存したりする不正直な振舞いには関与しません。

**注釈:** 希求基準では、正直であることを強く推奨します。ステークホルダーを意図的に誤った方向に導くことを意図した、一部だけの真実、または非開示は、平然と虚偽の陳述をすることと同様に専門職としてふさわしいものではありません。私たちは、完全で正確な情報を提供することによって信頼を高めていくのです。

## 付録A

### A.1 この規定の歴史

独立した専門職であるプロジェクトマネジメントに対するPMIのビジョンが原動力となって、倫理に関する早期の取組みが始まりました。1981年に、PMIの理事会は倫理・標準・認可のグループを組織化しました。このグループに要請された仕事のひとつが、専門職のための倫理規定の必要性についての審議でした。チームの報告書は、プロジェクトマネジメント専門職向けの倫理に関するPMIの審議結果の第一版を含んでいました。この報告書は、1982年8月にPMI理事会に提出され、1983年のプロジェクトマネジメント季刊誌 (Project Management Quarterly) の別冊として出版されました。

1980年代後半に、この規定が進化してプロジェクトマネジメント・プロフェッショナル[PMP®] 倫理規定になりました。1997年に、PMI理事会は会員の倫理規定の必要性を確認しました。PMI理事会は、PMI会員のための倫理規定を起草して発行するために、倫理政策文書化委員会を組織しました。理事会は、1998年10月に新しい会員倫理規定を承認しました。これに続いて、1999年1月に会員の訴訟手続きの理事会承認が行われ、ここで倫理の告訴、および違反発生有無の判定、を提起するプロセスが提供されました。

1998年の規定が採用されてから、PMI内部と経済界では劇的な変化が生じてきています。PMI会員は著しく増加しました。会員の増加は、北アメリカ以外の地域でも起こりました。経済界では、倫理上のスキャンダルが、一般大衆の怒りを買って、政府規制強化の引き金となり、グローバルな企業や非営利団体の破綻をもたらしました。グローバル化は、経済を互いに接近させましたが、同時に倫理の実践がそれぞれの文化によって異なってくることを実感させました。急速かつ連続的な技術変化は、新しい機会を生み出しましたが、同時に新しい倫理上のジレンマを含んだ新しい難題をもたらしました。こういった理由から、2003年にPMI理事会は、倫理規定の再審査を指示しました。2004年にはPMI理事会は、倫理規定のレビューと規定改訂プロセスの策定に向けて倫理標準評価委員会 [ESRC] を任命しました。ESRCはグローバルなPMコミュニティの活発な参加を促すプロセスを策定しました。2005年のPMI理事会では、PMコミュニティのグローバルな参加が重要だということに同意し、規定改訂プロセスを承認しました。2005年に理事会はまた、倫理標準策定委員会 [ESDC] を任命し、理事会承認の改訂プロセスの遂行と、2006年末までに改訂規定を配付することを指示しました。この倫理・職務規定は、2006年10月にPMI理事会によって承認されました。

## A.2 この基準の作成に用いたプロセス

倫理標準策定委員会 [ESDC] によるこの規定策定の最初のステップは、PMコミュニティが直面している倫理上の問題点、および、世界のあらゆる地域の実践者にとっての価値と視点を理解することでした。これは、調査グループによる討論や、実践者、PMI会員、PMIボランティアおよびPMI認定資格保有者たちが参加した2つのインターネット調査など、多様な方法によってなし遂げられました。その上、チームは世界の様々な地域から24の非営利団体の倫理規定を分析し、倫理基準策定のベスト・プラクティスを研究して、倫理に関するPMI戦略計画の理念を検討しました。

ESDCによって行なわれたこの大規模な調査研究は、PMI倫理・職務規定の公開用草案を策

定するための背景になりました。公開用草案は、グローバルなPMコミュニティに配付され意見が求められました。規定の策定期間中は、ANSI(米国規格協会)によって確立された厳格な基準策定プロセスが用いられました。これらのプロセスはPMIの技術基準策定プロジェクトに使用されており、公開用草案に対するステークホルダーのフィードバックを入手し裁定するためのベスト・プラクティスを示すものと考えられたからです。

倫理・職務規定はこうした作業の結果で、グローバルなPMコミュニティが強く望む倫理的価値観を述べているだけでなく、この規定に拘束されるすべての個人にとって必須の具体的な行為を扱っています。PMI倫理・職務規定に対する違反は、倫理訴訟手続きに従ってPMIによる制裁措置をもたらすことがあります。ESDCが確認したことは、PMの実践者として私たちのコミュニティが倫理に非常に真摯であるべき義務があり、私たち自身とその仲間がグローバルなPMコミュニティにおいてこの規定の条項に従って振舞う責任があるということです。

## 付録B

### B.1 用語集

**ののしりの態度【Abusive Manner】** 身体的に危害を与えたり、または脅威、屈辱、ごまかしや他人から搾取したりするような強度の不快感をもたらす行為。

**利害衝突【Conflict of Interest】** 実践者自身、または自分が忠誠義務を負う人や組織に利益をもたらす一方で、同時に実践者が同様な忠誠義務を負う他の人や組織に損害を与えてしまう、といった意思決定や行動を行うときに、PM実践者が直面する状況。実践者が対立している義務を解決できる唯一の方法は、影響を受ける人々に対立を開示し、実践者の採るべき方法を彼らに意思決定させることである。

**忠誠義務【Duty of Loyalty】** 密接に関係する組織や人の利益最大化を推進するという、法的または道徳的な人としての責任。

**プロジェクトマネジメント協会【PMI】【Project Management Institute【PMI】】** 委員会、グループ、および公認の要素組織(支部、単科大学、研究会など)を含めたプロジェクトマネジメント協会全体の総称。

**PMI会員【PMI Member】** プロジェクトマネジメント協会に会員として参加している人。

**PMIスポンサー活動【PMI-Sponsored Activities】** PMI会員アドバイザー・グループ、PMI標準策定チームまたは別のPMI作業グループや委員会への参加活動で、それらだけに限らない。また、公認のPMI要素組織の催しへの参加活動は、指導的役割に伴う活動でも、別種の要素組織教育の活動やイベントでも、これに含まれる。

**実践者【Practitioner】** PM専門職として、プロジェクトマネジメント、ポートフォリオマネジメント、あるいはプログラムマネジメントに貢献する活動に携わる人。

**PMIボランティア【PMI Volunteer】** プロジェクトマネジメント協会の会員、非会員に関わらず、PMIスポンサー活動に参加する人。

## PMI認定資格申請 / 認定更新の合意書

- 1) 私はPMI資格認定プログラム方針とPMI倫理・職務規定の要件に従い行動することに合意します（資格認定プログラム方針やPMI倫理・職務規定は必要な都度更新されます）。かつPMI試験の内容について守秘します。さらに、どんな方法であれ、個々の試験内容について誰とも討論したり、誰からも聞いたり誰にも洩らしたりしないことを合意します。
- 2) 私はいつでも誠実に、正直に行動し、PMIに正確な報告をします。認定申請や認定更新の際、意識的にも無意識にも質問事項に対してタイムリーに完全な回答で真実を報告することができない場合、PMIから別途調査を受けたり処罰を受けたりすることに合意します。また、PMI会員とかPMI認定資格者の誰でもが合意書事項またはPMI倫理・職務規定に関して犯したどんな違反でもPMIに適宜報告することに合意します。
- 3) 住所や電話番号を含め登録済みの個人情報に変更がある場合には、PMI資格認定部門にタイムリーに通知することに合意します。
- 4) 私は、事象発生後60日以内にPMI認定資格部門へ報告します。報告するものは議事録、訴訟、和解やその他の合意事項、手続き代行業者の処理、プロフェッショナルに関連した所属組織の対応、プロジェクト・マネジャーとしての業務に対する告訴など。また、資格認定に限らず、証明書、背任行為、倫理上の懲戒や同等のものも含まれます。私は、また重大犯疑義、有罪判決、不誠実・非倫理的行為への弁明などが発生したら60日以内に適宜報告します。
- 5) 私は、資格認定において合意条件が証明資料を含めるよう要求すれば、完全で正確な証明資料の写しをPMI資格認定部門に提出することに合意します。
- 6) 私は、資格認定申請や申請に関連した書類を評価したりまたは確認するために、必要と認めた人や政府機関に対し確認する権利がPMI資格認定部門に有ることを認めます。更にPMIから請求があれば関連資料を提出することに同意します。
- 7) 私は、PMI認定がプロジェクトマネジメントの仕事や関連した仕事に従事するためのライセンスや官庁への登録や官庁の承認を保証することを意味しないことに同意します。
- 8) 私は、PMI認定部門へ送付する資料がPMIの所有物となること、またPMIへ返還を要求しないことに同意します。
- 9) 私は、PMI認定資格取得後オンライン登録の一貫としてPMI WEBサイトにPMIにより私の名前が転載され、保守されることに同意します。
- 10) 私は、私のPMI資格認定プロセスへの参加についてPMIの研究目的のため、方法を問わず使用されることに同意します。
- 11) 私は、私のPMI認定資格申請やPMI資格認定プログラムに関連する論争が、アピール・プロセスも含めPMI資格認定部門のポリシー、プロセスや規則によってのみ解決されることに同意します。
- 12) PMIは、申請内容に不備がある人、同意事項に違反した人またはPMIの行動指針と倫理規定に違反していると確認された人は誰でも、その認定資格の一時中止や無効とする権利を

保持します。

13) 私は、プロジェクトマネジメントとして関わった仕事によって生じた責任や請求からPMIとPMI資格認定部門を守り、巻き込むことはありません。

14) 私はここにPMI、PMIの役員、管理者、メンバー、試験者、雇用者、弁護士、代理人、エージェントそしてPMI認定部門への申請、試験結果、倫理規定等々全ての活動に対する、訴訟、義務、損害、要求、請求を放棄し、自分の職務を履行し、それらから保護します。私は私の認定申請資格や認定資格継続申請そしてPMI行動指針と倫理規定遵守に関する決定についてPMIが唯一の実施者であることを理解しており同意します。

この同意事項は時々更新されます。オンラインから最新の内容を取得するのは皆さんの責任です。現時点の最新版は2007年4月版です。